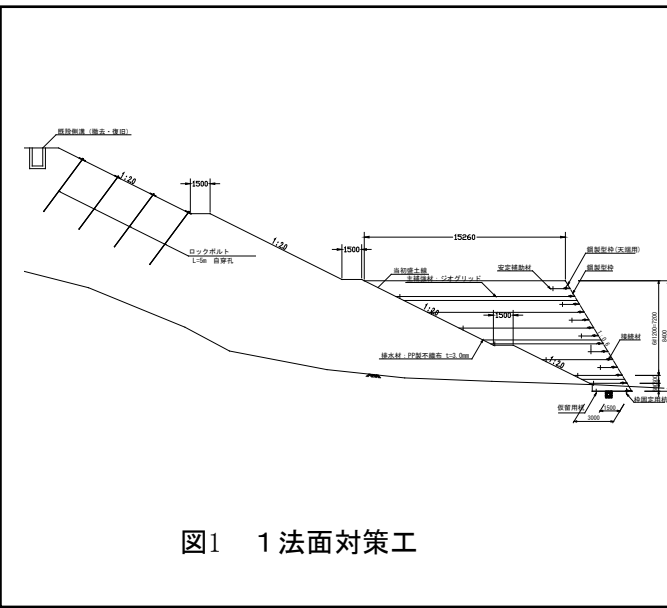
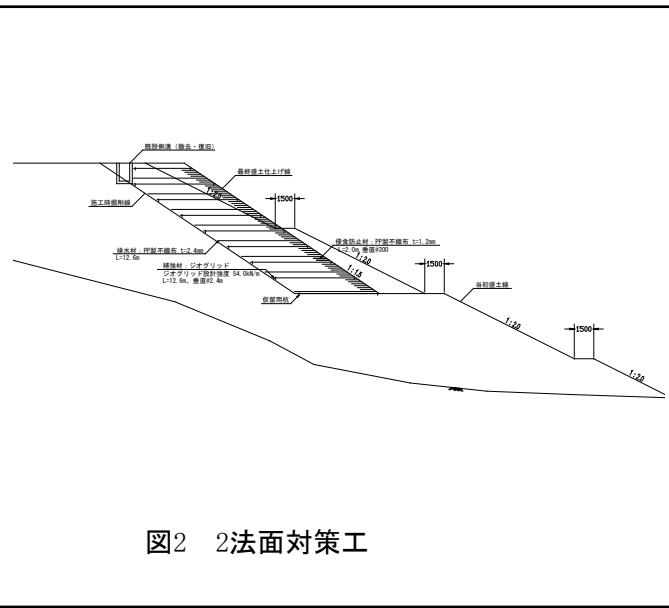


取組事例の名称	某企業様 工場法面補強工事		
概要	対象	民間工場敷地法面	
	種別	<input type="checkbox"/> 救援 <input checked="checked" type="checkbox"/> 機能回復 <input type="checkbox"/> 新・増設 <input type="checkbox"/> 復興 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	規模	約10haの民間工場敷地内の法面2箇所施工	
	実施会社	(株)間組	
	実施場所	県	市・町・村
	発注者		
	<p>1. 工事等取組の目的及び概要と採用した技術名称          名称：補強盛土+ロックボルト、盛土撤去+補強盛土</p> <p>東日本大震災により、エレクトロテクノ工場施設内の盛土法面で変状があった。盛土法面には、高圧受電設備、重要配管があり、復旧とともに客先より盛土自体の補強の要請があった。補修・補強を行った法面は2箇所、それぞれ、補強盛土+ロックボルト、盛土撤去+補強盛土、の工法で対応した。大震災では、各地で長時間揺れがあったことから、盛土の変状に対する補修・補強要請が多かった。この案件もこれに該当する。</p>		
<p>2. 当該技術を採用した理由、当該技術に期待した成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2箇所それぞれ、施設が撤去可能か、法面自体の崩壊度合い、今後の重要性、などを総合的に判断して工法を選択した。</li> <li>・ 盛土法面に対して、ロックボルトはほとんど適用しないが、施設の重要性、施設が撤去不可能な状況を鑑み、採用した。</li> </ul>			
(写真、イラスト)			
 <p>図1 1 法面对策工</p>		 <p>図2 2 法面对策工</p>	

取組事例の名称	某企業様 工場法面補強工事
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦勞した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業者より段階的な工場の再開を求められたので、計画、設計、施工を迅速に行う必要があった。</li> <li>・ 稼働工場内での土工事となるため、交通事故、環境対策などに苦慮した。</li> <li>・ 工事中の降雨等に苦慮した。</li> </ul>	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業者からも法面が安定した状態となったと評価をいただいた。</li> <li>・ 企業者も盛土についての認識が深まり、次計画に生かしたいとの意見もいただいた。</li> </ul>	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盛土法面に対するロックボルトの効果については、その後の状況からも効果はあると考えている。施工条件が悪い場合には、積極的に採用したい。</li> <li>・ 補強土壁については、今回の震災で施工が悪い、盛土材が悪い場合には、変状を起こす事例が多々あった。当社が扱ったものでも3件程度あった。</li> </ul>	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の震災では、東北地方・関東の工場が被災し、世界への部品供給がストップし世界的な問題となった。土木では、造成地の盛土の扱い（高盛土を避ける、施設配置で盛土を考慮する）が問題であり、造成時に考慮すべきものと思われる。それを踏まえた建築設計も考えるべきと思われる。</li> </ul>	
NETIS登録	